ZENRIN

証券コード：9474

2021年 個人株主様向け会社説明資料

2021年11月15日

株式会社 ゼンリン

Maps to the Future

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

当社は、2017年より当社をより知っていただくための「株主様向けイベント」を開催してまいりましたが、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今期の当社グループ業績概況及び事業の取り組みを説明した資料を掲載することで代えさせていただきます。

引き続き、当社へのご理解とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申しあげます。

2021年11月　コーポレート本部

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

目次

1．2022年3月期 第2四半期実績、通期業績予想

2．各事業概況（上期実績・通期予想・取り組み）

3．株主還元

注）本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

1．2022年3月期 第2四半期実績、通期業績予想

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

中長期経営計画ZENRIN GROWTH PLAN 2025（ZGP25）

ZENRIN
Maps to the Future

2019年4月からスタートし、現在３年目（ファーストステージ最終年度）
将来の安定成長を目指すため、「ビジネスモデルの変革時期」と位置づけ、具体的施策を実行中

「ビジネスモデル変革時期」
ビジネスモデルを適切に使い分け
顧客価値増大と収益基盤強化

ファーストステージ（3期間）
2020年３月期 ～ 2022年３月期

＜取り組み＞

■収益の安定化
- ➢フロー型ビジネスからストック型ビジネスへの転換による収益基盤の強化

■成長分野への先行投資
- ➢自動運転、MaaS、ドローン等、新たなビジネス分野への取り組み継続

■事業基盤の構築
- ➢多様なサービスに対応するためのサービス基盤開発投資
- ➢整備技術の高度化による既存整備の効率化
- ➢事業基盤強化に向けたアライアンス強化

ありたい姿の実現
位置情報と流通情報を
最適化して価値創造

セカンドステージ（3期間）
2023年3月期 ～ 2025年3月期

今期（2022年3月期）は、
ZGP25ファーストステージ最終年度です。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響もあり、
当初の計画より遅延が生じている部分もありますが、
安定した収益基盤を確保すべく、
ビジネスモデルの転換と、多様なサービスに対応できる
事業基盤の強化を重点課題として、
引き続きZGP25に取り組んでまいります。

セカンドステージにつきましては、今期末までの
成果と課題を踏まえて、具体的取り組みと目標を策定し、
改めて公表させていただく予定です。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

第2四半期実績（2021年10月28日公表）

ZENRIN
Maps to the Future

【前期比　増収増益】

■オートモーティブ関連でカーナビゲーション用データの販売や受託開発などが前年同期を上回って推移、
また、広告需要が回復傾向にあることなどを背景にマーケティングソリューション関連の売上が増加
加えて、企業向けの住宅地図データを活用した受託案件やストック型サービスのGISパッケージが
堅調に推移し、３期ぶり増収

■損益面では、増収により黒字転換したことによる業績連動賞与の計上や、販売促進活動のための広告宣伝費の
増加などにより、最終的には営業損失となったが、各利益は3期ぶりに改善

（金額単位：百万円）

2022年3月期　第2四半期決算				
	前期第2四半期 実績	**当期第2四半期　実績**	前年同期比	増減率(%)
売上高	24,209	**25,880**	1,670	6.9
営業費用	25,670	**26,336**	665	2.6
営業利益 営業利益率	△1,460 △6.0%	**△456** **△1.8%**	1,004 4.2pt	—
経常利益	△1,240	**△322**	917	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	△723	**△80**	642	—

※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年３月31日。以下「収益認識会計基準」）等を適用している為、前期までの計上方法と比較し、当第2四半期の売上高は418百万円、売上原価は385百万円減少しております。営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。 前期（2021年3月期）以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用していない為、増減率は参考値です。　（次ページ以降同様。収益認識会計基準については19ページ参照）

通期業績予想（2021年10月28日修正）

ZENRIN
Maps to the Future

【前期比　増収増益】

■当第２四半期は、売上高が当初予想より好調に推移したものの、世界的な半導体不足によるカーメーカーの生産調整等の影響など先行きが不透明であることから、売上高は前回発表予想値を据え置く

■利益については、引き続き営業活動の効率化や生産性向上等の取り組みによる費用低減効果を見込むとともに、持分法非適用関連会社の売却に伴う特別利益等の発生(※)などにより、前回予想値を上方修正

※持分法非適用関連会社の売却に伴う特別利益等の発生については、10月28日発表資料 をご参照ください。

（金額単位：百万円）

2022年3月期　通期業績予想				
	前期実績	**当期予想**	前期比	増減率(%)
売上高	57,225	**58,200**	974	1.7
営業費用	55,789	**55,900**	110	0.2
営業利益 営業利益率	1,436 2.5%	**2,300** **4.0%**	863 1.5pt	60.1 –
経常利益	1,683	**2,500**	816	48.5
親会社株主に帰属する当期純利益	1,248	**2,100**	851	68.1

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

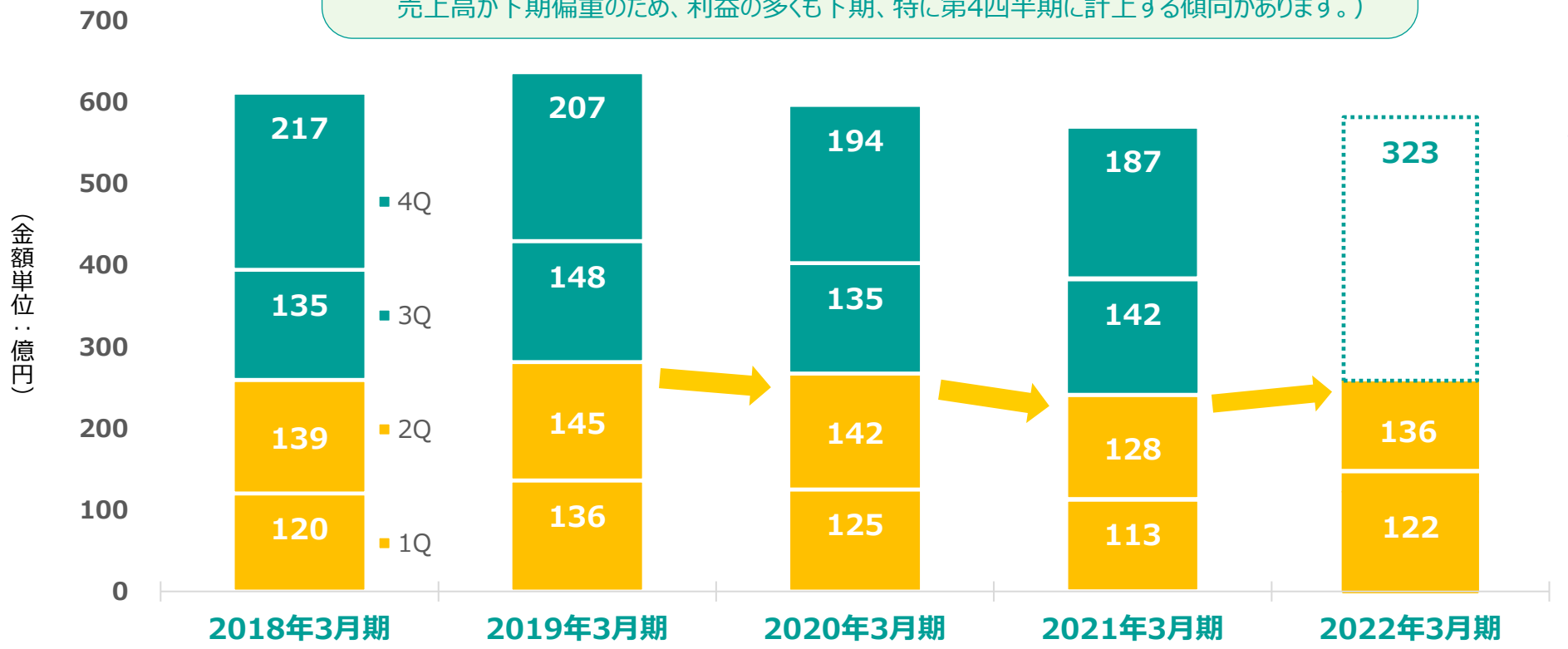
直近5年間の売上高推移

ZENRIN
Maps to the Future

売上高

当社グループのビジネスは企業・自治体との取引が大部分を占めるため、売上は下期、特に第4四半期に集中する傾向があります。今期は３期ぶりの増収となりました。

（※当社グループは、地図データベース整備費用等の固定費が年間を通して発生しますが、売上高が下期偏重のため、利益の多くも下期、特に第4四半期に計上する傾向があります。）



	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
通期	613億円	637億円	597億円	572億円	通期予想：582億円
上期	260億円	281億円	268億円	242億円	上期実績：258億円

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

2. 各事業概況（上期実績・通期予想・取り組み）

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

事業概要

ZENRIN
Maps to the Future

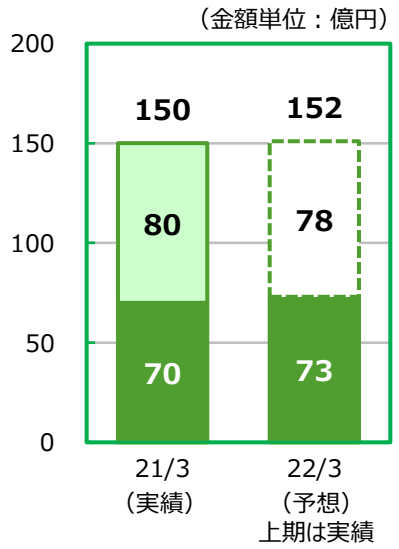
当社ビジネスは６事業で構成

プロダクト事業	企業向けに、住宅地図帳や住宅地図データを活用したパッケージ商品等を提供
公共ソリューション事業	中央省庁や自治体に、業務をサポートする商品・サービスを提供
マップデザイン事業	企画地図やオリジナルの地図柄商品等を提供
オートモーティブ事業	カーナビゲーション向けデータ提供ビジネスと 自動運転・ADAS（先進運転支援システム）関連ビジネス
IoT事業	インターネット関連サービス（スマホアプリ、ポータルサイトなど）向けの 地図データ提供や、企業向けソリューションサービスの提供
マーケティングソリューション事業	中堅企業、個人事業主を対象としたマーケティングの支援や一般商業印刷

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

プロダクト事業・公共ソリューション事業

プロダクト



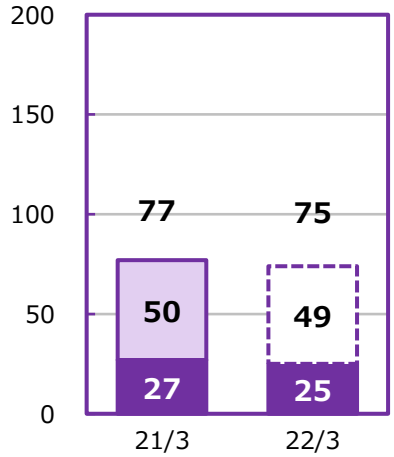
受託案件、ストック型ビジネスが堅調に推移

■上期実績：73億円（前年同期比+3億円）
住宅地図データを活用した受託案件やGISパッケージ等の
ストック型商品の売上が堅調に推移し、前年同期比増収

■通期予想：152億円（前期比+１億円）

WEB **プロダクト事業**
https://www.zenrin.co.jp/company/summary/business/

公共ソリューション



前期計上の受託案件反動減

■上期実績：25億円（前年同期比▲2億円）
前期の国勢調査関連の大型受託案件の反動減や、
地図帳の販売減少により、前年同期比減収

■通期予想：75億円（前期比▲２億円）

WEB **公共ソリューション事業**
https://www.zenrin.co.jp/company/summary/business/pu/

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

プロダクト事業・公共ソリューション事業

プロダクト事業、公共ソリューション事業の「受託案件」ってどんなものがあるの!?

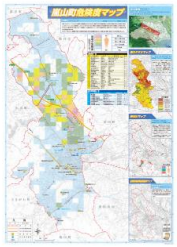
受託案件の一例です

防災（ハザード）マップ

近年の大雨や地震など増加する自然災害に備え、防災マップの作成が増加しています。当社は、地図データに水害・土砂災害・津波・地震などの危険区域の情報を重ね合わせ、さらに、避難の心得や災害特性の説明など事前学習情報等も掲載し提供しています。今後も、自治体との協業により、地域の防災・減災支援に取り組んでまいります。

冊子版

1枚図版



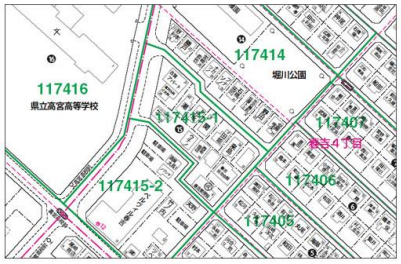
WEB版

冊子・一枚物・WEBなど様々な様式で提供

オーダー地図

当社の住宅地図をベースにお客様の持つ情報を活用し、お客様専用地図を作成しています。消防・警防・電気・ガスなどの管理に欠かせない「公共地図」や自動車学校の「検定用地図」など、お客様の企画に合わせたオーダーマップを、地図製作のノウハウを活用し提供しています。

電力・ガス会社様向け見本



検針業務、設備の管理に。

商圏マップ

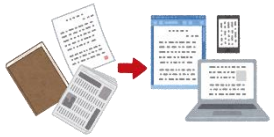
エリアマーケティング、宅配業務に。

自動車教習所マップ

自主経路設定、検定用のマップに。

DX推進に伴う「データマネジメントサービス」の需要が増加しています！

顧客データのメンテナンスは、常に企業の重要課題です。



会社の業務システムと連携するため、
顧客データを電子化しようと思ったけど、
古い住所や地番が混在してるし、
住所表記も1番1号だったり、
1-1だったり、困ったな・・・

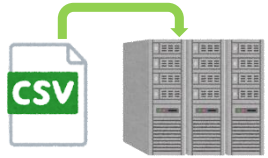
お客様保有データ
Aマンション
○○市100-1

＋

ZENRIN
時空間データベース
住所データ
建物名データ

お客様の保有する住所データに、最新・正確・網羅性を持った当社の住所データと座標を付与。

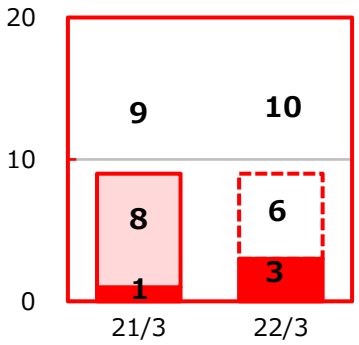
データの可視化や、分析可能データへと進化させることで、
企業の適切な顧客管理と業務効率化をサポート



キレイになったデータを
システムと連携させれば、
効率良くマーケティングや
営業活動ができるぞ

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

マップデザイン事業



大型スポーツイベント関連の売上計上

■上期実績：3億円（前年同期比＋2億円）
大型スポーツイベント関連の公式ライセンス商品販売や、
観光関連の広告需要や個人向け商品・サービスの販売が回復傾向により前期比増収増益

■通期予想：10億円（前期比＋0億円）

WEB **マップデザイン事業**
https://www.zenrin.co.jp/company/summary/business/md/

■道の駅を記録し、記憶に残す” 新サービス「道ゆき」開始 <2021年4月22日>

当社が発行するロードマップ「道の駅 旅案内全国地図」は、
2021年度版が最終号となりましたが、“道の駅ファン”の皆さまに、
道の駅めぐり旅をもっと楽しんでいただくための新サービスとして、
「道ゆき」を開始いたしました。
「道ゆき」は、書籍、アプリ、WEBサービス等を通して、
道の駅めぐり旅をサポートする会員制のサービスで、
旅前のプラン作成や旅中の記録、旅後の記録の編集・
公開までをトータルでサポートいたします。
全国の道の駅の詳細情報を収録したロードマップを20年間に
わたり発行してきた当社だからこそ提供できるサービスです。

WEB **「道ゆき」公式サイト**
https://www.zenrin.co.jp/product/category/michinoeki/michiyuki/

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

ZENRIN
Maps to the Future

■好きな“まち”を好きな“もの”に創作する場所「地図工房」福岡市と北九州市に誕生！ <2021年10月31日>

地図工房
MAP DESIGN LABO

地図を新たなコンセプトで捉え、情緒的価値を訴求するマップデザイン事業の事業領域の拡大の一環として、「地図工房」を設立いたしました。

「地図工房」では、当社制作の2D・3D地図データを素材として、好きな“まち”を「塗り絵」や「切り絵」などに創作することができます。加えて、創作した好きな“まち”を、普段使いできる好きな“もの”に加工することもできます。

好きな“まち”を創作する楽しさや面白さを感じていただき、地図の奥深さを知っていただけるような場所を目指してまいります。

＜地図工房で作れる作品例＞

（ペーパーフォトフレーム）

（塗り絵）

（地図記号キーホルダー）

地図工房　福岡
- 住所　福岡県福岡市中央区天神2丁目9番107号 Map Design GALLERY 4F
- 営業日　平日：13:00-19:00、土日祝：11:00-19:00
- 定休日　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日が定休日となります）

地図工房　小倉
- 住所　福岡県北九州市小倉北区室町1丁目1番1号 リバーウォーク北九州4F
- 営業時間　平日：13:00-18:30、土日祝：10:30-18:30
- 定休日　毎週月曜日（月曜日が祝日の場合、翌日が定休日となります）

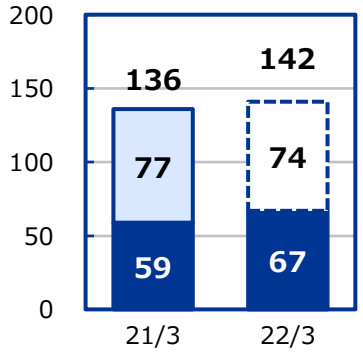
※工房をご利用の際は、事前のご予約が必要です。

初めて創作される方でも、専門のスタッフが丁寧にサポート。
塗り絵や切り絵などの創作を楽しみながら、地図の奥深さを知ることができる場所です。地元や思い出のまちの地図を使った作品づくりをしてみませんか。

WEB **「地図工房」公式サイト**
https://www.zenrin.co.jp/mapdesignlabo/

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

オートモーティブ事業



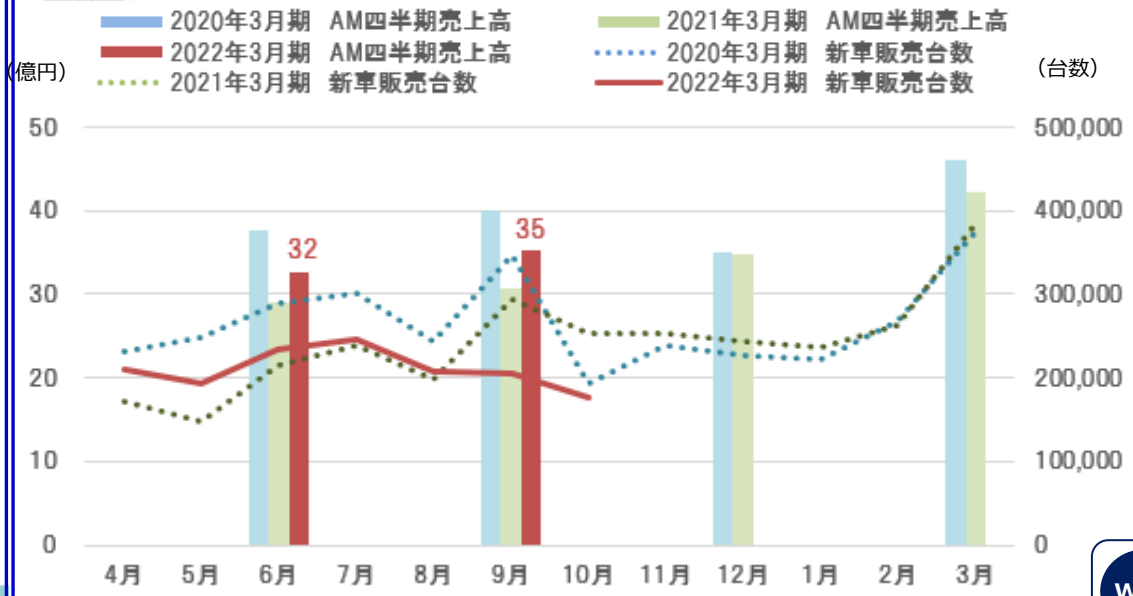
カーナビゲーション向けデータ販売増加

■上期実績：67億円（前年同期比＋8億円）
カーナビゲーション向けデータ販売および受託案件が増加し、前年同期比増収

■通期予想：142億円（前期比＋５億円）

新車販売台数は減少しているのに、どうして売上は伸びているの？

＜オートモーティブ(AM)事業の売上と新車販売台数推移＞



※出典：㈳日本自動車販売協会連合会「新車・年別販売台数（登録車）車種別販売台数」

国内市場における新車販売台数は、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響で、半導体などの部品が不足するなど、各社、減産を余儀なくされ減少しています。

オートモーティブ事業は、カーナビゲーション向けデータ販売が大部分を占めており、自動車市場の動向に大きな影響を受けますが、上期は前年同期比増収となりました。
これは、当社データが採用されているモデルの減産影響が小さかったこと、新型モデルへの採用などによるものと捉えています。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大前の売上には戻っておらず、下期においてもカーメーカーの生産調整の影響などにより、先行きは不透明ですが、カーナビゲーション用データ市場の維持とAD/ADAS関連の取り組みを継続してまいります。

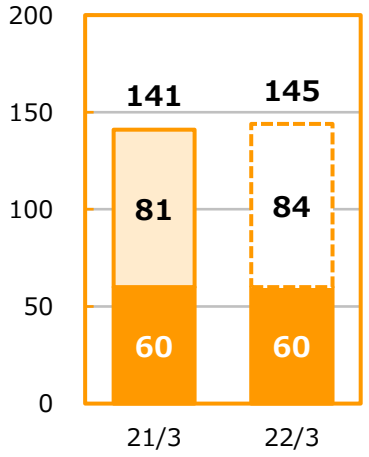
WEB **オートモーティブ事業　ゼンリンのテクノロジー：ADAS**
https://www.zenrin.co.jp/product/category/technology/adas/

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

IoT事業・マーケティングソリューション事業

ZENRIN
Maps to the Future

IOT



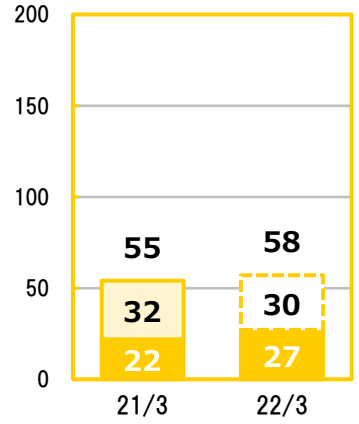
ソリューションビジネスが堅調に推移

■上期実績：60億円（前年同期比＋0億円）
ソリューションビジネス等が堅調に推移。 前年同期比ほぼ横ばいであるが、
収益認識に関する会計基準の適用による影響が▲５億円あり、実際は増収傾向
（※収益認識に関する会計基準の適用については19ページご参照）

■通期予想：145億円（前期比＋３億円）

WEB **IoT事業**
https://www.zenrin.co.jp/company/summary/business/iot/

マーケティングソリューション



広告需要の回復

■上期実績：27億円（前年同期比＋４億円）
広告需要の回復により、DMやチラシ等紙媒体印刷及びマーケティングデータの提供が増加し、前年同期比増収

■通期予想：58億円（前期比＋２億円）

WEB **マーケティングソリューション事業**
https://www.zenrin.co.jp/company/summary/business/ms/

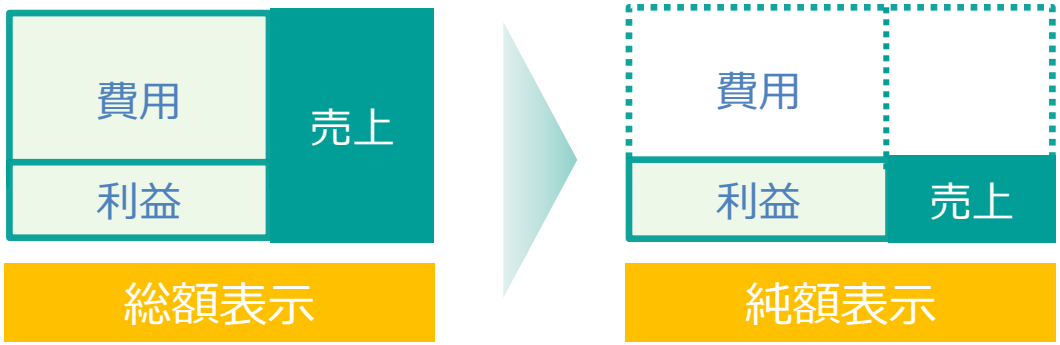
© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

（ご参考）収益認識に関する会計基準適用の影響について

今期（2022年3月期第1四半期）より、新たな会計基準（収益認識会計基準）等を適用しているため、
第2四半期の売上高は、当会計基準を適用しなかった場合と比較して、約4億円減少しています。
同様に、通期連結業績予想における売上高は、10億円程度の減少を見込んでいます。

上記減収は、主にはIoT事業の一部の取引において、売上高が「総額」から「純額」に変更されたことによるものです。
第2四半期のIoT事業の売上高は、収益認識会計基準等を適用しなかった場合と比較して、約5億円減少しています。

■総額から純額への変更とは



取引全体の総額を
売上高として計上

取引全体の総額から
費用を除いた額を、
売上高として計上

収益認識会計基準により、今までは
企業ごとにバラバラだった売上計上の
タイミングや方法が統一されました。

総額から純額への変更により、売上高は減少
しますが、利益の計上金額には変更がないため、
会計基準の変更による利益への影響は、
軽微であると見込んでいます。

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

3. 株主還元

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

株主還元

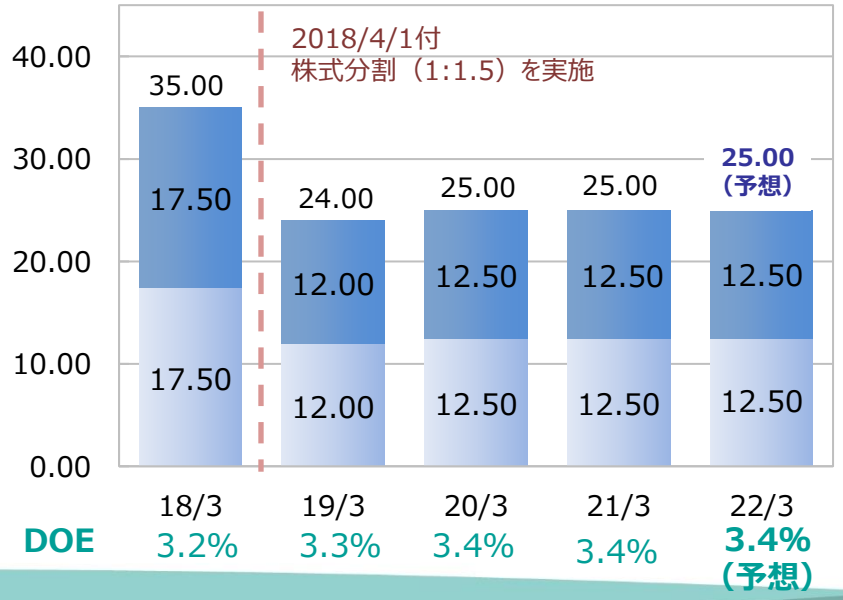
配当・自己株式取得は、基本方針に基づき継続実施

基本方針		
	配 当	適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施 → 連結株主資本配当率（DOE） 3％ 以上を目標
	自己株式取得	資本効率の維持・向上にも資する株主還元策として機動的に実施 → 資本状況、株価、市場環境、成長投資の機会等を考慮し決定

DOE ＝ 配当総額 ÷ 株主資本

当社は、短期的な利益水準により変動する可能性が高い「配当性向」ではなく、「DOE」に基づいた安定的かつ継続的な配当を基本方針としています。

【 配当 ～DOE3%以上を維持～ 】



【 自己株式取得 】

2021年4月28日 取締役会決議内容	
取得期間	2021年5月6日～2022年3月31日
取得株数	1,000,000株（上限）
取得金額	1,500,000,000円（上限）
進捗状況 （%は進捗率）	
取得期間	2021年5月6日～2021年10月末現在
取得株数	232,800株（23.28%）
取得金額	269,044,100円（17.94%）

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

参考） 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

リリース日	タイトル
4月5日	コーポレートベンチャー投資ファンド「ZFP第1号投資事業有限責任組合」を設立 (当社、ZFP)
4月９日	地図デザイン商品の専門店「Map Design GALLERY 福岡」4月17日（土）福岡市天神に誕生！
4月16日	建設業界におけるBIM/CIMの業務効率化を支援する「ゼンリン ３D地図データオンライン提供サービス」に新機能登場
4月19日	エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社と業務提携
4月20日	“道の駅を記録し、記憶に残す” 新サービス「道ゆき」4月22日（木）より提供開始
4月21日	各業種の業務を効率化する地図配信サービス「ZENRIN GISパッケージ」シリーズが続々リニューアル
5月14日	ゼンリンの時空間データベースを活用したAPI「ZENRIN Maps API」にて新機能を提供開始
5月20日	日立と長崎市での観光型MaaS実証実験に向け協業を開始
5月25日	車の中で快適にWeb会議ができる「移動会議室」の実証実験を実施
5月31日	三井E&Sマシナリーとゼンリンデータコムがドローン自動飛行による港湾クレーン点検技術を確立 （ZDC）
6月3日	レイ・フロンティア株式会社と業務提携
6月22日	スカパーJSAT・ゼンリン・日本工営・QPS研究所- 福岡市実証実験フルサポート事業「宇宙」採択プロジェクト決定 衛星データを活用したため池モニタリング実証
6月23日	NTTタウンページ株式会社と業務提携

※ZFP：㈱ゼンリンフューチャーパートナーズ、ZDC：㈱ゼンリンデータコム

WEB **ニュースリリース・お知らせ**
https://www.zenrin.co.jp/information/

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

参考） 当社グループの主なニュースリリース・お知らせ

ZENRIN
Maps to the Future

リリース日	タイトル
7月13日	みずほ銀行と法人向け統計データ流通における実証実験実施
7月14日	マップボックス・ジャパンとパートナーシップを締結 （ソリューションの共同開発を目指す）
7月19日	長崎市と包括連携協定を締結
8月24日	マップボックス・ジャパンと国内地図サービス企業7社で、広告配信で連携する「マップアドネットワーク」を立ち上げ
9月15日	車いすユーザーの移動履歴を地図上で可視化した経路案内を開始 ～「ANA 空港アクセスナビ」に「バリアフリー地図/ナビ」機能を追加～
9月30日	日本発の提案、“ドローン用の地理空間情報に関する国際規格”が発行
10月4日	10月4日からミニストップで「ゼンリン住宅地図プリントサービス」開始
10月6日	ゼンリン、横浜ゴムと地図を活用したタイヤ空気圧遠隔監視システムの実証実験を開始
10月7日	ゼンリンデータコムとSO Technologies（㈱）が、『Area Marker』の店舗情報をGoogle マイビジネスに自動連携できるシステムを共同開発 （ZDC）
10月12日	ゼンリン住宅地図対応 配達ドライバーサポートアプリ「配達アプリ」を「GODOOR」に名称変更 ～累計10万有料会員突破を記念して期間限定キャンペーンを実施！～ （ZDC）
10月15日	ゼンリン初！好きな“まち”を好きな“もの”に創作する場所「地図工房」が10月30日（土）に福岡市と北九州市に誕生！
10月25日	大分県大分港にて三井E&Sマシナリーとゼンリンデータコムが4G(LTE)回線を利用した遠隔自動飛行ドローンによる 港湾クレーン遠隔点検に関する実証実験を実施 （ZDC）

WEB ニュースリリース・お知らせ
https://www.zenrin.co.jp/information/

© ZENRIN CO., LTD. All Rights Reserved.

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン　https://www.zenrin.co.jp
コーポレート本部